



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも対象者の方々に不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際大学 公衆衛生大学院 松井晴菜

【研究責任者】

聖路加国際大学 公衆衛生大学院 松井晴菜

入院患者における転倒・転落に対する関連因子の探索と 機械学習手法を用いた予測モデル開発とその評価 -患者背景と質指標に関するデータに基づいて-

1.研究の対象

- 1) 2015年4月から2021年3月までに、転倒転落が報告された50歳以上の入院患者の方
- 2) 2015年4月から2021年3月までに、聖路加国際病院で勤務していた看護師を主とする職員の方

2.研究の目的・方法

聖路加国際病院は、2012年7月にJCI認証を取得し継続更新中で、2015年4月にNDNQIへ参加、2019年11月には国内初のマグネットホスピタル認証を取得しています。本研究では、聖路加国際病院に入院された患者様の背景のデータを用いて、転倒・転落に関するアウトカムとの関連について検証し、聖路加国際病院の入院患者様における転倒予測に寄与する変数を同定します。また、前述の結果に基づき、決定木分析などの機械学習の手法や人工知能に関わる手法を用いて、入院患者の転倒・転落に関する高性能な予測モデルを構築します。予測モデルで説明しきれない部分について、聖路加国際病院に勤務される看護師を主とする職員の方々のデータを含む医療・看護の質指標のデータを考慮して、予測モデルについて評価を行います。この調査では、過去の診療録（カルテ）に記載される内容や、過去の医療・看護の質に関するデータについての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

《入院日の入院患者様の背景に関するデータ》

診療科、年齢、性別、現病歴、既往歴、嗜好、BMI、視力障害の有無、ADLスコア(身体機能スクリーニング)、入院時せん妄のリスク、移動時の補助具、精神状態、「転倒転落アセスメントシート」や「せん妄アセスメントシート」の項目、「注射・処方」の抹消静脈(側管:点滴)の指示の有無、内服薬の指示、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数、SpO2、体温、等)、その他転倒転落のリスク要因に関する情報

《転倒・転落が発生した月の医療・看護の質指標のデータ》

看護師の配置、患者1人の1日当たりの看護師による看護時間、看護師数に対するベッドを占有する入院患者数の比率、看護師/看護助手の混合配置、全ての技術レベルの看護職員による総看護提供時間の割合、看護師の平均在職年数、看護師の部署経験年数、職務満足度、部署の種類、時期、正看護師以外の看護職の配置、全ての技術レベルの派遣看護職員による看護提供時間、患者1人の1日当たりの看護助手による看護時間、教育歴、大卒やそれ以上の学歴の看護師の割合、国の特別認定をもつ看護師の割合(※認定看護師や専門看護師に相当する)、離職率、他病棟からの

ヘルプの看護師及びその他聖路加独自の配置方法など(時短看護師・夜専看護師等)、
看護師以外の職種(医師・病棟薬剤師)の配置や労働時間、年次有給消化率や時
間外労働、等